

キャリアアップに資する教育訓練（説明用シート）

派遣業務内容	橋梁等構築物の調査・補修検討業務支援
派遣業務の具体的内容	橋梁調査の現場管理、現場作業 調査計画書作成、健全度調査、報告書作成等補助

	入職時～1年目	2年目	3年目	4年目以降
(1)必要とされる共通のキャリアパス（求める人材要件）	マニュアル、職場ルールに従って正確に作業できる 社会人としてのマナー、挨拶や言葉遣いができる 社外の人もコミュニケーションがとれる 未経験業務に対する興味、観察能力があること 元気でハツラツとしていること 仕事に対し真剣、真摯に取り組む姿勢	作業の基本を理解し、後輩に教えることができる。 コミュニケーション能力 未経験業務に対する興味、観察能力があること 技術能力の向上 仕事に対し真剣・真摯に取り組むこと 元気でハツラツとしていること	職場の課題を発見し、改善と提案を行うことができる。 技術能力の向上 技術交流の橋渡しができる コミュニケーション能力 マネジメント能力 コンクリート技士資格	職場の責任者として部下をマネジメントし、業務を円滑に進めることができる。 技術能力の向上 技術交流の橋渡しができること 論文発表を見据えた知識・成果をあげることができる 会社経営に必要な知識 コンクリート技士資格
(2)(1)に必要なスキル、資質等	社会人マナー、社会人としての資質 コミュニケーション能力 法令遵守 安全配慮・危険予測	コミュニケーション能力 技術の向上 マネジメントスキル	技術力の向上 技能者認定制度試験 コンクリート技士資格試験 コミュニケーション能力 マネジメント能力	技術力の向上 技能者認定制度試験 コンクリート技士資格試験 コミュニケーション能力 マネジメント能力 会社経営に関する知識の習得
(3)教育訓練内容（上段：様式3号－2具体的な教育訓練、中段：上段の内容のわかる事項、下段：訓練計画時間）	新人研修	社会人研修	技能者認定制度	技能者認定制度
	マナー、挨拶、顧客対応 コミュニケーションスキル等 社会人として基本的な事項を身に付ける	日々の業務の振り返りと反省点や改善点の確認 成功事例の共有 コミュニケーションスキルの研鑽等	コンクリート現場試験技能者認定制度研修・試験・実技試験	コンクリート現場試験技能者認定制度研修・試験・実技試験
	2時間	2時間	16時間	16時間
	コンプライアンス研修	技術研修	技術研修	技術研修
	不祥事防止・違反リスク 遵守すべき法令・企業規則の 基本的な知識を身に付ける	業務に使用する技術の勉強会 専門能力向上のための指導 等	業務に使用する技術・知識習得勉強会	業務に使用する技術・知識習得勉強会
	2時間	4時間	4時間	4時間
	情報セキュリティ研修	マネジメント研修	マネジメント研修	専門技術研修（技術研修）
(4)期待される教育訓練の効果／到達すべき知識／技量レベル／キャリアアップにつながる理由	情報漏えい・顧客情報の取扱等セキュリティに対する意識やリテラシーを高め、インシデントを防ぐ	後輩への指導方法 モチベーションの保ち方 ハラスメントに関する知識	後輩への指導方法 モチベーションの保ち方 ハラスメントに関する知識	論文発表にむけての勉強会 専門知識の学習 他
	2時間	2時間	2時間	3時間
	業務に関する研修	業務に関する研修	業務に関する研修	会社経営研修（マネジメント研修）
(4)期待される教育訓練の効果／到達すべき知識／技量レベル／キャリアアップにつながる理由	橋梁構築物他構造物の基礎知識 必要な技術と基礎知識 社会的責任説明 等	構内試験・解析についての理解 環境に対する配慮 等	技術研究開発の理解・学習	社長による経営についての勉強会 他
	2時間	2時間	2時間	2時間
	社会人としての心構え・マナーを理解し基本的な事項を身に付けることができる。 円滑な人間関係を築くことができる。 仕事の内容を理解し、危険予測能力の土台を作ること で今後の業務について安全にレベルアップしていくことが見込める。	社会人2年目として過去1年間の業務の振り返りを行うことで反省とそれに対する改善方法を認識する。 また成功事例を共有することで社内の業務遂行能力のアップが期待できる。 今後のキャリアアップを見据え、後輩へのマネジメント能力の定着を図ることでさらなる人材育成の流れを作ることができる。	社会人3年目として業務の振り返りと反省の他、引き続き新入社員や後輩・部下への指導方法を学ぶことで、後進とも良い関係性を構築できる。 技術についての研修時間を増やすことでより専門的な知識を習得し、業務上の問題点の改善・解決策を導ける人材に成長できる。 基礎的な資格としてコンクリート技士資格の取得	中堅スタッフとしてより高度な技術の取得を目指す。 技能者としての学習・研修のほか、論文の発表等も視野に入れる。 会社経営に必要な知識等の学習も取り入れていくことで、社会的に重要かつ必要な人材となっていくことが見込める。 基礎的な資格としてコンクリート技士資格の取得 最終目標として国家資格である技術士（建設部門）の資格取得を目指す